

■各隣保の集落点検の結果をお知らせします

7月から9月にかけて、各隣保ごとに開催した集落点検ヒアリングの集計ができましたので、皆さんに結果をお知らせします。

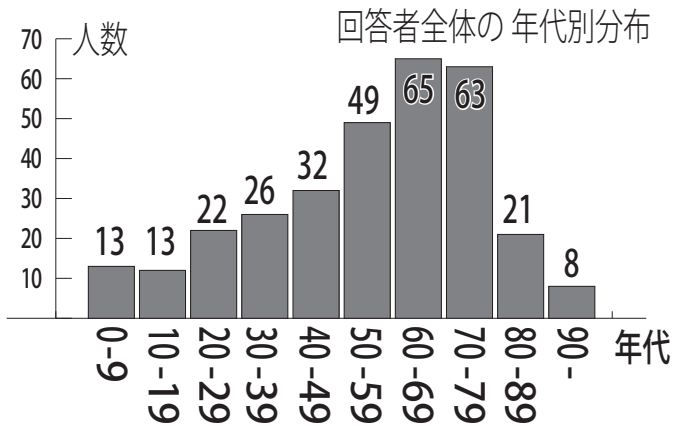
●高齢化率は35%(H22年)→40%(今回)と増加

船坂	自治会世帯数	回答数	集計人数
集落全体	138世帯	121世帯	314人
2014年8月 ヒアリング による	65歳以上人口	実質高齢化率	
	126人	40.1%	

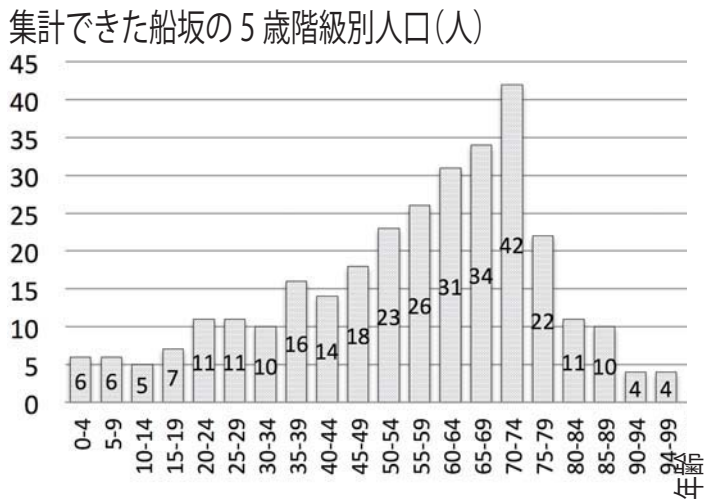
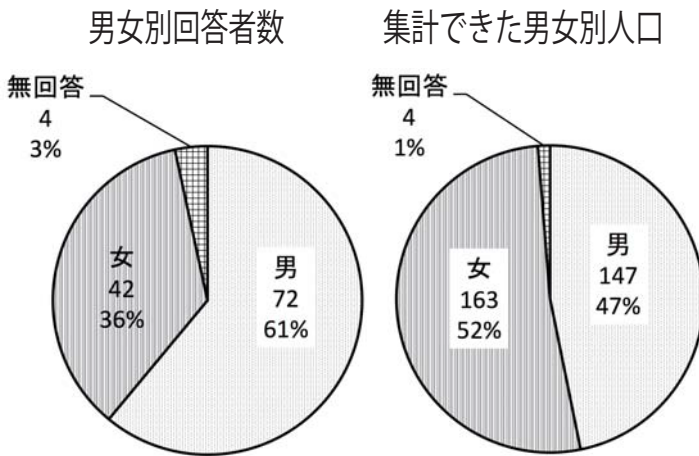
H22年国勢調査の世帯数は207でしたが、今回の回答世帯数は121でした。

兵庫県内で最も高齢化率の高い自治体は香美町の36%で、船坂はこれを上回ります。

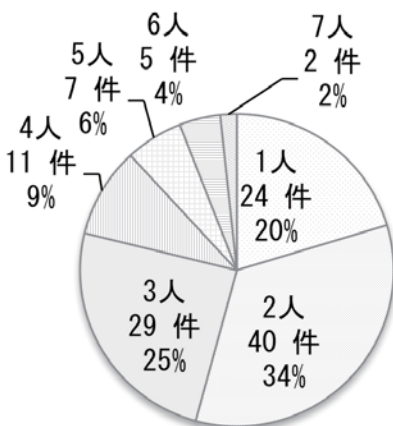
(平成26年4月現在)



●回答者は男性が61%／集計できた船坂の人口では男性が47%



●全世帯の半数以上が2人以下の世帯／将来空き家になりそうな家は33件



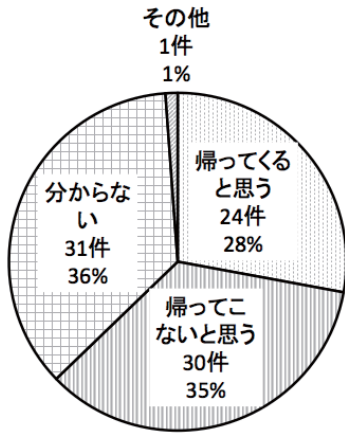
単身世帯の内訳	
単身世帯	24軒 (20%)
うち高齢世帯 (65歳以上)	19軒 (16%)
うちUターン見込みあり	5軒
うちUターン見込みなし	14軒
単身高齢者人数	19人

2人世帯の内訳	
2人世帯	40軒 (34%)
うち高齢夫婦世帯 (どちらか65歳以上)	27軒 (23%)
うちUターン見込みあり	8軒
うちUターン見込みなし	19軒
高齢夫婦人数	54人

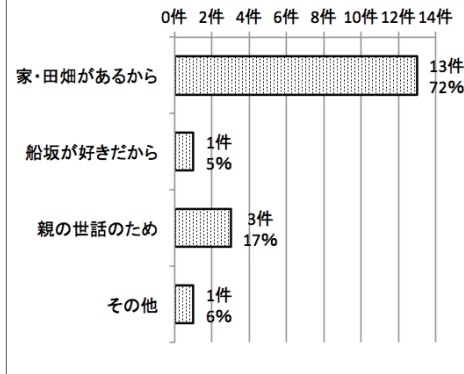
このうち、子どもがUターンしない世帯は、合計で**33世帯**でした。これらが**将来空き家になる可能性**があります。

●お子さんが帰ってくる世帯は 28% (24 件) / 帰ってこない理由は「不便だから」

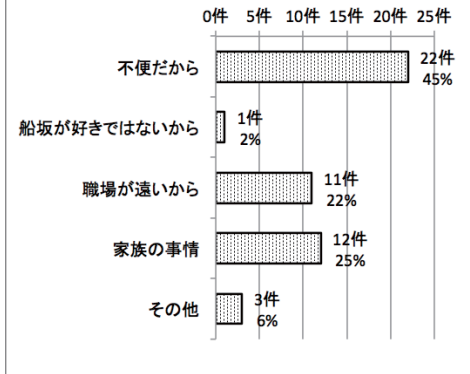
お子さんは将来帰ってきますか？



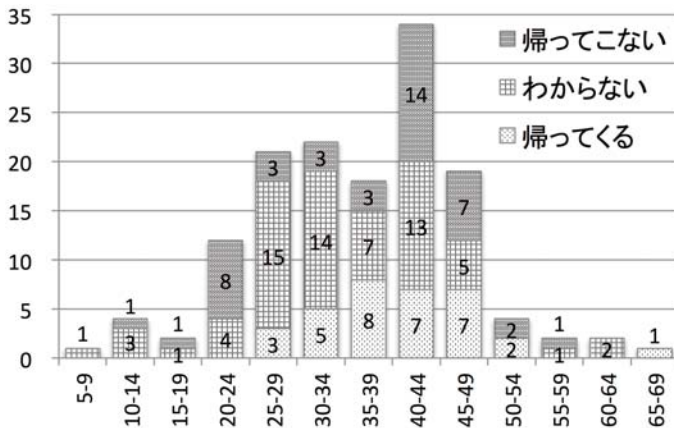
帰ってくる理由は？



帰ってこない理由は？



●将来船坂に帰ってくる人は 141 人中 33 人 (23.4%)



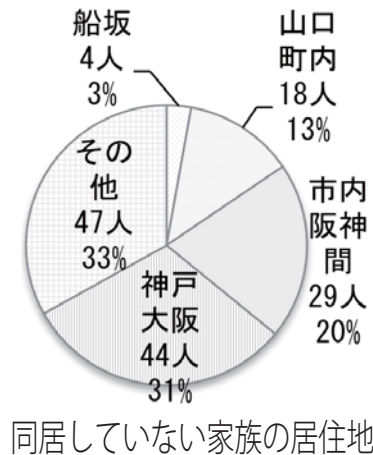
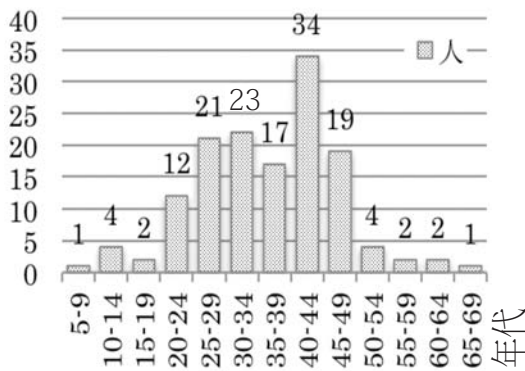
外に出て暮らしている家族、全 141 人のうち 33 人 (23%) のご家族が、将来的に船坂に帰ってくる意向があります。

この人達が、今すぐ帰ってきたと仮定して高齢化率を計算すると **40%→33.7%** と、少し高齢化率が下がります。

※参考：高齢化率
西宮市[20%] / 香美町[36%]

●船坂外に出た家族は、70% ぐらいが近く (1 時間圏内) に住んでいる

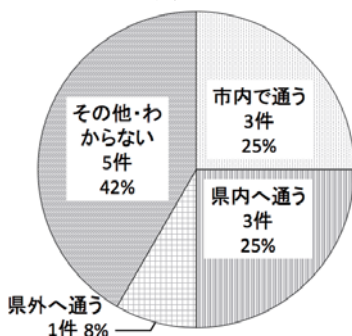
同居していない家族の年代 (総数 142 人)



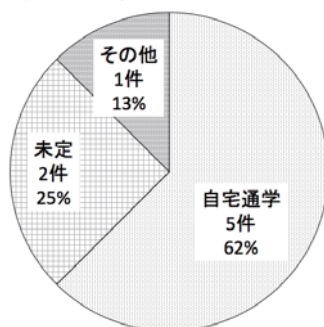
外にいる家族は 45 歳以下が約 8 割 (113 人)。しかしながら、1 時間圏内に暮らしている人が多く、もしこの家族が全て船坂にいると考えると高齢化率を計算すると 28% になります。

●進学で船坂を出る子は少ないが、就職では船坂を出る子が多くなる

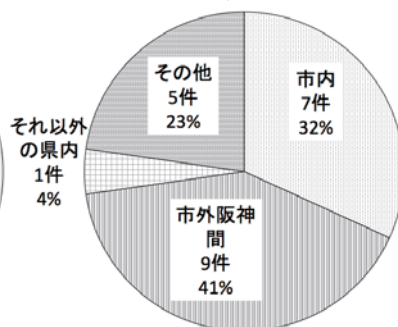
予定している進学先はどこですか？



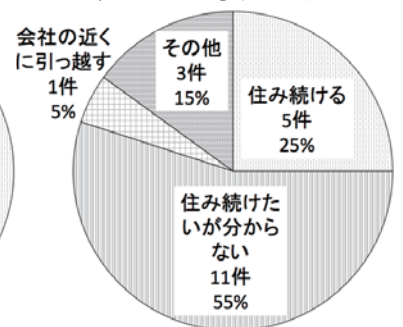
進学後はどちらから通いますか？



予定している就職先はどこですか？

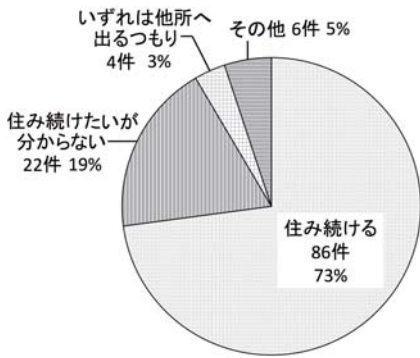


就職後はどちらにお住まいの予定ですか？

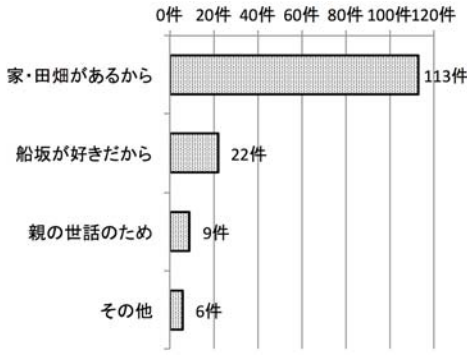


●73%の世帯は船坂に住み続けるつもり／住み続けられない理由は「不便だから」

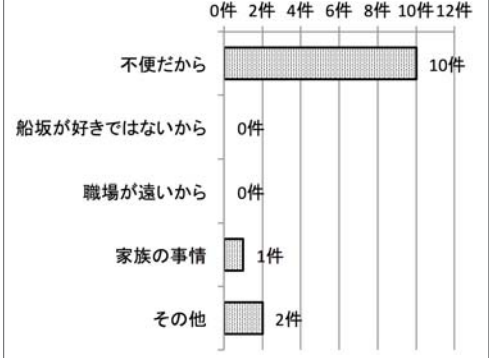
船坂に将来も住み続けますか？



住み続けると答えた理由

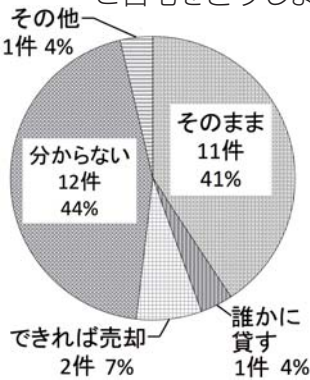


住み続けると答えなかった理由

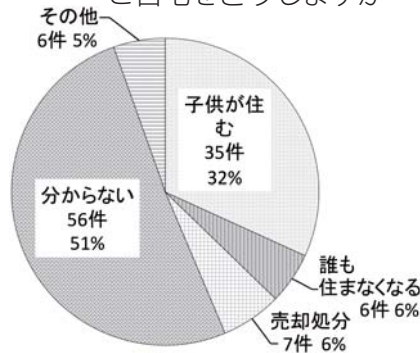


●船坂を離れる場合、家はそのまま／自分が亡くなったあとの家は半数が「わからない」

船坂を離れる場合
ご自宅をどうしますか



ご自分が亡くなったあと
ご自宅をどうしますか

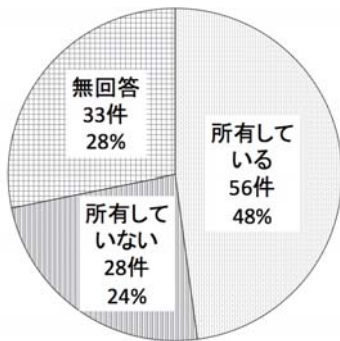


いずれの場合も家は「そのまま」になるか、または「わからない」と答えた方が多く、これらは将来的には空き家となる可能性があります。

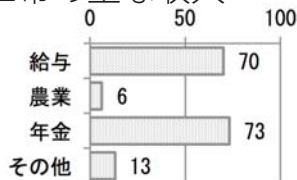
こう考えると将来的には **50～60軒の空き家が発生**する可能性もあります。

●世帯の収入源では、年金が一番多い／専業農家はわずか／農地の将来の心配

農地の所有世帯



世帯の主な収入



田畑の所有者の内訳と、後継者のあるなし

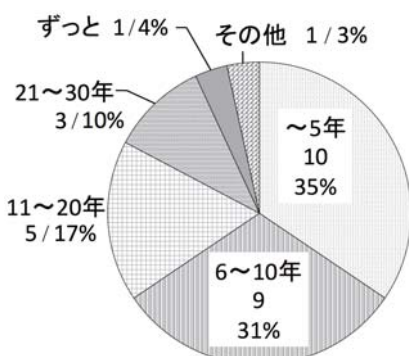
	世帯数	
	後継者あり	その他
田畑の所有者	56	39
農業を職業にする人のいる世帯	8	5
主な収入に農業をあげた世帯	2	5
田畑の非所有者(未記入を含む)	62	
農業を職業にする人のいる世帯	7	
主な収入に農業をあげた世帯	4	
農家専業(年金収入有を含む)世帯	5	4

農業収入のある世帯内訳

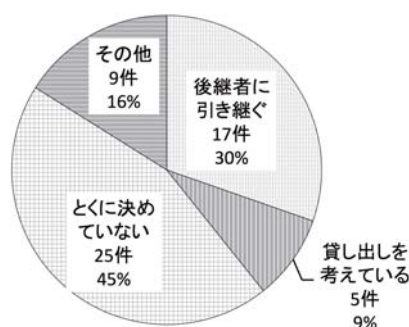
主な収入に農業をあげた世帯	6
農地を所有している世帯	2
農地非所有世帯	3
無回答	1

世帯の主な収入に農業をあげた世帯は6世帯のみでした。農業をしている人の66%があと10年ぐらしか農業はできないと回答しています。田畑の所有者で後継者があると答えた世帯は17世帯のみで、残りの39世帯(71%)の方の田畑は、将来的に耕作をする人がいなくなる可能性があります。後継者の方が農地の境界のことを知らない世帯が多いことも課題です。

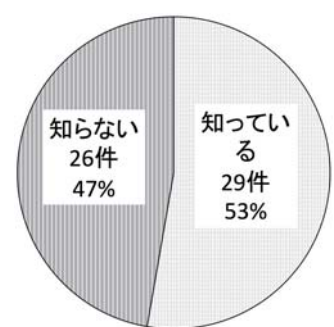
あと何年農業ができますか？



田畑の引継ぎを考えていますか
(農地所有者 56世帯)



農地の境界のことを後継者は知っていますか？



●船坂に住む人の生活圏は山口町～藤原台

通勤先ランキング

場所	人数
市内(北部)	37
阪神間(西宮市以外)	29
船坂	13
市内(南部)	13
神戸市	11
神戸市(北区)	9
大阪市	9
その他	16

買い物先ランキング

お店	世帯
マンダイ	55
コープ	42
ダイエー	26
宝塚阪急	8
イオン(神戸北)	7
移動販売車	6
関西スーパー	4
イカリスーパー	3
コープ注文	3
西宮ガーデンズ	3

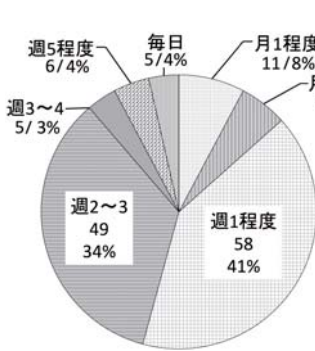
通院先ランキング

病院	件数
山口(高田上谷病院)	22
神戸市北区内	14
神戸市北区(済生会兵庫県病院)	14
神戸市北区(神戸アドベンチスト病院)	10
山口(内橋内科)	8
山口(白川外科)	6
宝塚市(市立病院)	5
神戸市北区(恒生病院)	5
神戸市北区(松本クリニック)	5
市内(兵庫医大)	4
山口	4

通勤先では、京都など2時間以上かかる遠方まで通勤している方もいらっしゃいました。

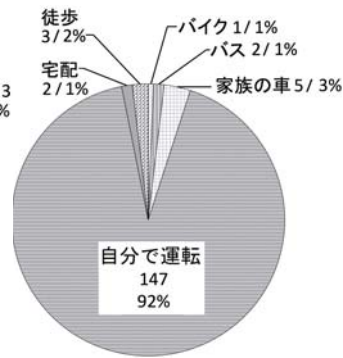
買い物の頻度

(複数回答)



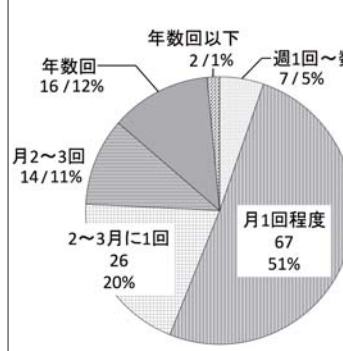
買い物の交通手段

(複数回答)



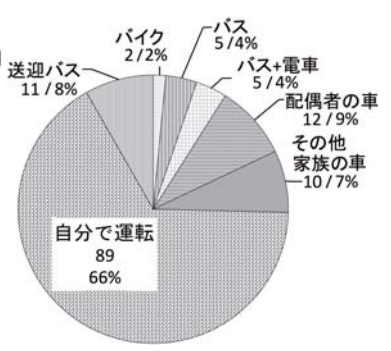
通院の頻度

(複数回答)



通院の交通手段

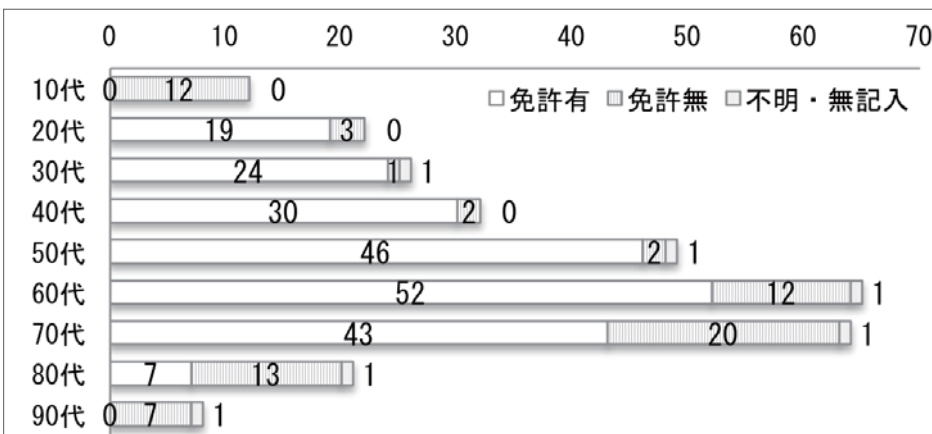
(複数回答)



買い物に出かけるのは、週1回あるいは週2~3回という方が多く、全体の75%となっています。また、通院に関しては、月1回程度の方が多く約半数でした。交通手段としては、買い物については「自分で運転」する方が92%と最も多い一方、通院では66%と少なくなります。

買い物に関して言えば、中には、**徒歩とバスのみで生活している方もいらっしゃいます**。移動販売とコンビニのみで暮らしている方もいらっしゃいました。

●80代以上では運転免許のない世帯が多い



免許のない世帯は全て女性のみの世帯で、そのうちのほとんどがお一人暮らしの世帯です。

免許のない世帯では、バスで宝塚などへ買い物に出ているか、移動販売・コンビニに頼って生活しています。

今後さらに、**自力で移動できない世帯が多くなる可能性**があります。

●船坂に暮らしていて困ることを具体的におしえてください（自由記述）回答一覧

■交通(51件)

◎バスの使い勝手が悪い

- ・交通の便が悪い(13)
- ・バス(さくらやまなみ)が1時間に1本しかない／公共交通の便が少ない(12)
- ・土、日の最終が早い。終バスが早い(4)
- ・バス代が高すぎる(5)
- ・不便。交通ルートが限られている。高齢になった時生活できない。
- ・電車はないし、やまなみバスもやっと通ったけど、本数が少ないので、結局は自分達で車を運転して、買い物や仕事に行くしかない。車通勤可能な仕事にしか、就職する事が出来ない……。 (だからパートやアルバイトになってしまう……)
- ・バス停が遠い。タクシーが余り予約できない、時間がかかる(来る迄に)。
- ・高齢になると、停留所に行くのも難しくなっています。
- ・バスの本数が少ないし、料金が安い。同じ山口町のセンターに行くのに往復700円以上かかる。道路が通行止になる確率が高い。中国道が事故すると渋滞になるし、西宮北道路が2018年無料化になればますます渋滞や事故率が高くなる。

◎自動車がないと不便

- ・自動車がないと生活が不便(6)
- ・自動車で動く事が多く、運転出来なくなるとどうしよう
- ・交通費の負担が大きい。車の燃料費も大きい。
- ・1人の子供が病気で車に乗れなく、私もいつ迄も車に乗れません。
- ・自分で車の運転ができないので、移動する時には困りますが、主人やご近所の皆さんに頼っています。

■生活(28件)

- ・生活が不便。／不便(2)
- ・買い物不便(6)、通院が不便(5)
- ・歩いて買い物に行けない(3)／店がない(4)
- ・病院、金融関係(銀行や郵便局)が不便。バス停まで(からの坂道がしんどい。

- ・文化施設がない。
- ・学校、スーパー、交番、病院がない、医師がいない。
- ・公会堂とか旧船坂小学校などに行くのが遠いので不便
- ・生活用品、食料品等の店がない(2)
- ・近くにショッピングセンターがあればと思う。
- ・祝日など車が大変混む。病院が遠い。

■環境・防災(19件)

◎環境

- ・冬の寒さ(雪が降ると大変!)／寒い(水道が凍ることが多い。雪かきに出れる人が、我が家の人間しかいない)
- ・県道の交通量(大型やトラック)が多く、騒音や振動が激しい。(2)
- ・道が狭い、歩道がなく危険。生活道路が渋滞する(土日)
- ・夜道が暗い(街灯を増やしてほしい)
- ・大雨や雪で通行止めなど交通問題が生じる(5)

◎防災

- ・土砂崩れの心配。
- ・災害時の避難場所ってどこだろう？歩いてそこまで行くのかな？車で行っていいのかな？と考えることがある。
- ・バスが大水や大雪で運休することがある。
- ・台風とか自然災害時に不便+災害多い

■その他(18件)

- ・ずっと住んでいるので困ることない。不便と思うことはある。移動手段ですが車があるので、特別不自由していません。
- ・今の所問題はない／特になし(14)
- ・畑の自己保全が困難(高令、人手不足)
- ・人とかかわりがない。子どもの社会性が育たない。
- ・子どもが少ないので近所どうして遊ぶ環境、機会が少ない
- ・職場が遠い。

船坂に暮らしていて困ることを皆さんにお聞きしましたが、やはり公共交通など移動手段についてのご不便が多くあげられました。

買い物にも通院にも移動手段が必要な船坂では、車がないと暮らせないというご意見があり、また、公共交通としてのバスの本数が少ないことや、バス運賃が高いことなどについて不便だどのご意見をいただきました。地域内外の移動手段については船坂の今後の大きな課題となりそうです。

●船坂の子育て環境をどう思いますか（自由記述）回答一覧

■良いと思う(8件)

- ・良いと思う(2)／子育ての環境は良いと思う。教育については見方によって色々ある。／環境は良い／自然が多い／自然好き、田舎好きの方の子育てには良い。

■良くないと思う(50件)

◎船坂小学校の廃校が残念(14件)

- ・小学校の廃校がネック(3)／小学校がない事が致命的／船坂小学校の復活／学校及宅地有れば最高の所。只し区画整理出来れば…
- ・学校、幼稚園等の問題／学校がない(2)／小学校がない、通学に不便／船坂小学校があった時は感じなかった。山口小学校に統合され不便と感じる。今更でもあってよかった。今日、通学や塾通いなど時間と費用がかかっている。将来子供が船坂に住んでくれてもこの負担感があるのに無理に勧められない。
- ・学校が無いので大変不便ですが、子供が大きくなり、今は考えなくて済みますが、昔が良かったです。
- ・小学校がなくなり、さみしい。
- ・環境はいいと思いますが小学校がないのが残念だ。

◎通学が大変(15件)

- ・学校が廃校になり、バス通学では大変(2)／学校が遠い(3)／生活環境はとて素晴らしいと思います。ただ学校、塾、習い事等すべて地元にないので親のおくりむかえが必要で大変です。
- ・船坂小学校が廃校になり、山口小学校までバスで通学が子供の負担になるのではと思う、子供の人数が少ない地域で近くに色々な施設がないのは不便であると感じる反面自然が多い点では良い／バスの本数が少ないなど、良くない／バス通学の不便さ、地元と同級生がいない
- ・環境は良いが子育てには不便である。私達世帯には小さな子供はいませんが、子供さんがいる家は大変だと思います。自然がいっぱいで、良い部分もありますが、小学校に行くのも、中学校に行くのもバス通学になるので大変。
- ・親が車で送らなければいけない時もある。やまなみバスが出来て、西宮の高校に行くのは便利にはなったと思うが、これから先もバスがあったらという事だと思う。廃線になったらたちまち困る。
- ・学校が遠いので通学が不便、安全面が心配、塾等も遠い、高校以降の通学等も心配・病院は急患でも比較的近い(1時間以内なので安心)
- ・車で送迎すればおけいこ事も通えない事はない。

◎お金がかかる(5件)

- ・教育費用がかさむ／交通費がかかる／便利が悪く、お金が町よりたくさん要ります。のんびりしていて欲がなくだめです／学校通学の不便、その他教育に(交通費、親の労力)負担が多い／地域に学校がないのはさびしいが、通学にまして、義務教育を受けるのに、交通費の負担が親にのしかかるのは、受け入れ難い。自然が豊かな分、不便さは少々我慢しても、子育てに対してもっと考えてもらわないと、若い世代は増えない。

◎子供の数が少なく友達ができにくい(7件)

- ・子どもが少ないので、学校から帰って来てから遊ぶ友達がいない。その為、息子は(船坂に住んでいたが)小学校に近いアパートに転居した。自然環境がいいので子育てによいと思う。子育て世帯の転入を推進すればよい。(2)
- ・自然が多く、静かでいい環境ですが、若い人が少ないため、一緒に遊ぶ子どもたちもいない。将来子どもができたとしても、そういう面で不安。情報交換もしにくい。通わせる学校も遠くなるだろう。
- ・自分の子育ての時代にも、子どもが少ないのと、学校生活に少々不満があったので、娘は上山口に住まいをかまえた。
- ・かぶと虫を採ったり、船坂川で遊ぶなど自然に触れる機会には恵まれている。一方で子どもの数が少なく、大勢と交わりを持ち、自分と相性の良い相手と友達になることができにくい面もある。塾、おけいこ、医者等、親の送り迎えが必要で負担になる。
- ・自然が多いいいように思えますが、現代のように子どもだけの行動を心配しなければならぬ状況では、いいとも言にくいものがあります。また児童数が少ないということは基本的に子どもどうしが育つということは難しい。
- ・自然豊かな環境は良いと思いますが、大人ばかりなので、もっとたくさん友達がいる地域の方がいい。

◎生活環境に課題(5件)

- ・公園がない又は遠い(2)／環境設備の充実を願う。外灯不足
- ・自然とふれあえるのはいいが、絶対数が少なく、人、友との交流、育成面で難がある。
- ・自然環境は最高だと思いますが、教育機関、施設までのアクセスが不十分。
- ・歩道、登山道や自然道、遊歩道の整備

◎安心して子育てできない(4件)

- ・まだ子供が小さいので、通学時バス停に行くまでの交通事故が一番の心配事。県道の車のスピードがあきらかに速度オーバー(70～80kmはざら)の車が多く、何か対策を考えてほしい(オービスをつけるとか?)。船坂小交差点内で坂の上から来た車が、右折する時ノンストップで横断歩道に入ってくるので、何回かひかれかけています。どうにかならぬものか。

- ・乗用車、トラックが以前より多くなり、子供達に危険である。
- ・自然が多く良い環境であると思うが、実際のところ遊びに行く場所、遊べる所が少ない。子供が1人で歩いて遊びに行くにはあまりにも危険すぎる。人がいなさすぎて、何かあった時どうにもならない。子供にも不便なところである。一番遊びたい時期にすぐに

徒歩、自転車で遊びに行かせてやれなかった。

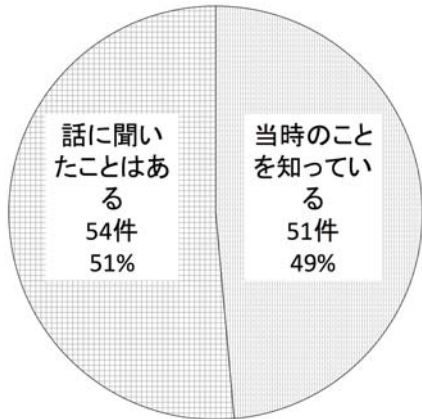
- ・自然豊かであっても安心して子育て出来る環境とは思えない。

■その他(6件)

- ・とくになし(3)/わからない(2)/子育てはおわったからいい

船坂の子育て環境については、皆さんの関心が高く、子育て環境として「良くない」を中心として、とてもたくさんの意見が出ました。

●船坂で昔製造していたという寒天作りについて覚えていますか？



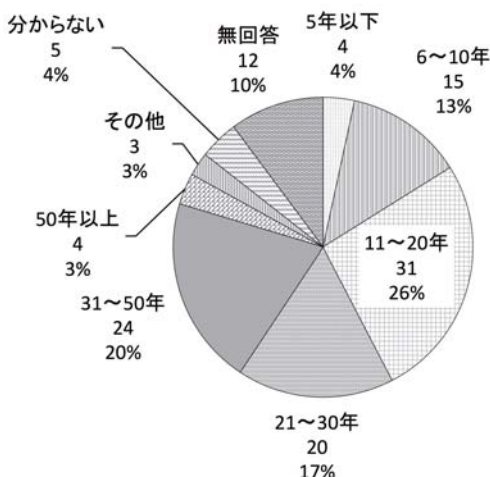
- ・雨が降ったらぬらさない作業をしなければならないから寝ていられないと大変なことを聞いたことがある
- ・においはしていた。
- ・石の代わりに重りになった。
- ・(主人の)実家がとても大変そうでした。収入にみあわない様でした。
- ・父が寒天製造をしていた。寒天製造の作業をしたことがある。
- ・家で祖父が冬期丹波から来た職人さんに手伝った
- ・寒天カスを畑に入れる話があった

- ・寒天の竹の網んだ入れもの、ところ天のようなものを入れ乾燥させる。寒暖の差のある所でないと作れない。
- ・90歳の義母の話…寒天のくずを貰ってよくようかんを作った。山口中学に通っている頃、寒い折は寒天づくりの火にあたらせて貰った。
- ・やけどした。
- ・搾りかすの臭いが強い印象、一番寒い時期の作業で大変
- ・冬になったら船坂の寒天で羊かんをつくっていた(代々つくっていた)夏はゼリーを作って砂糖をかけて食べていた。←工場からクズ寒天をもらっていた。親は冬に寒天工場
- ・1、糸寒天 2、氷を脇にかかえ、細かくけずりながら寒天の上にふりかける。 3、神戸港から輸出している(実際に見学をした。)
- ・20代の頃、寒天を干したものの黒いところを取る仕事をしていた。
- ・中学校へ行っていた頃は、道筋に7.8件程作業所があり、冬場は作業をしている人達でにぎわっていました。
- ・自宅で寒天づくりをしていた
- ・寒天干しをしている情景が思い出されます。とても美しく白く輝いていました。畑一面に小さなたなの上にほしていました。

回答された全ての皆さんが、船坂で寒天を作っていたことはご存知でした。当時の様子をご存知の方から、いろいろな思い出話をうかがうことができました。

●その他の項目

◎現在の家にあと何年住めると思うか



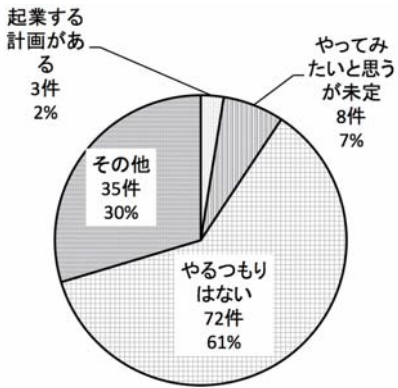
現在の家がそのままの状態だったとして、あと何年住めると思うかという設問には **43%の方が20年まで**と答えています。

また、地域内の雇用につながる可能性のある、船坂で起業するという方は3件ありました。

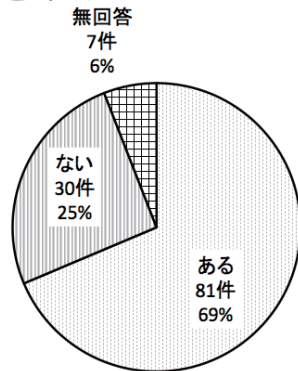
約 **70%の方が船坂にお墓のある方**で、こうした方が船坂を離れることは少ないかも知れません。

災害時の情報収集に役立つ、携帯電話の普及率は世帯ベースで91%でした。

◎船坂で起業するつもりがあるかどうか



◎船坂にお墓があるかどうか

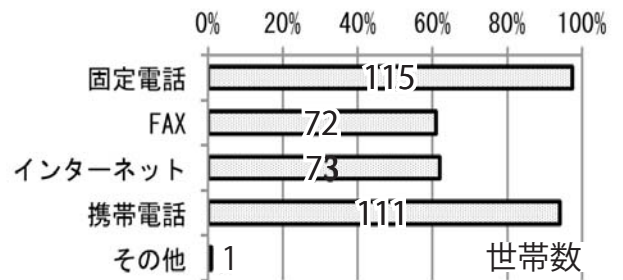


※「ある」には白水峽を含みます

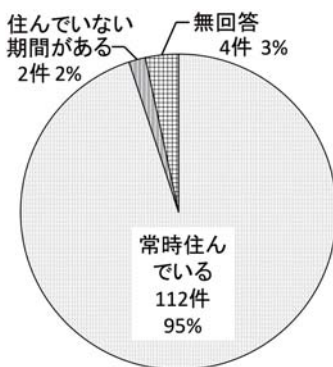
◎携帯普及率は91%

インターネットは61%

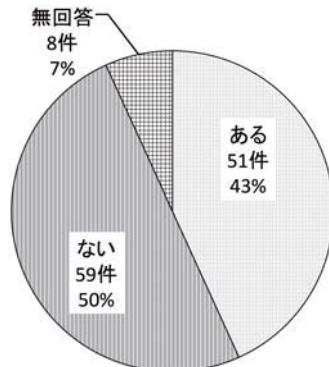
お手持ちの通信機器をあげてください



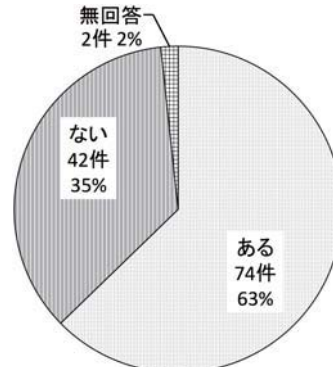
◎住んでいない期間があるかどうか



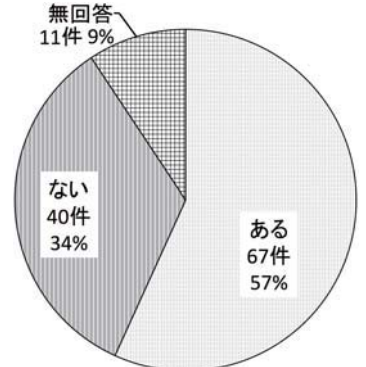
◎災害時の相談を家族でしたことがあるか



◎災害時に孤立する心配があるか



◎防犯対策の必要性があると感じるか



集落点検のまとめと今後の予定

ここでの結果をもとに人口を予測すると、船坂の高齢化率は、あと5年～10年の間に確実に50%を超えそうです。これに加え、少子化はさらに進み、さらに若年層が船坂を離れることも考えられます。そうなれば、空き家が増えると考えられますし、買い物難民とも呼ばれる自力で移動できない方が増えるでしょう。そして、これがさらに進むと、自治会活動やお祭り、お宮さんの世話なども難しくなってくるかもしれません。

このような現実を前に、今のうちに、地域全体で知恵を出し合い、できるだけ多くの皆さんが、これからは船坂で幸せに暮らすことができる仕組みを整えていくことが重要と考えます。一緒に、船坂の地域ビジョンをつくり将来に向けたまちづくりに取り組んでいきませんか？

船坂まちづくり塾を開催します

～船坂の将来を語り合おう！～

集落点検の結果をもとに、船坂が将来どうなっていくのかという予測を皆さんで共有し、「計画を立てるだけ」ではない、具体的な船坂のビジョンを描く作業の第1回目を行います。

どなたでも、ご参加いただけます。皆さんぜひお集まり下さい。

日時：2015年1月12日(月・祝)

午後2:00～4:00

場所：船坂公会堂